



ふれて楽しむエチオピア文化

ファンディカ Fendikaのメンバーと 小学生が交流！

子どもたちとの国際交流 私市小学校、藤が尾小学校

私市小学校と藤が尾小学校に学校訪問を行い交流の機会を持ちました。エチオピアの伝統的な音楽を聞き、Fendikaメンバーと一緒に歌い、踊る、楽しい時間を過ごしました。子どもたちはお礼として、太鼓の演奏や校歌斉唱をおくり、文化交流を行いました。

10/11



給食にエチオピア料理「クックル」が登場！

「クックル」は牛肉と野菜をじっくり煮込んだスパイシーなスープ。私市小学校と藤が尾小学校では、Fendikaのメンバーと限定メニューを楽しみ、日本の流行りやエチオピアの遊び等を共有し交流の時間を満喫しました。



10/13

交野の土で彩る、エチオピアの手織り布

エチオピアの手縫いの布を交野市の土を用いて染めるベンガラ染体験ワークショップを実施しました。Fendikaのメンバーは、世界に一つだけのデザインの手ぬぐいができたことに感動。ワークショップ後には、エチオピア楽器の弾き方を教えていました。



音楽を奏で合い、結んだ友情

今回の交流を振り返って

初めての来日でしたが、交野のみなさんが温かく歓迎してくれて嬉しかったです。交野で過ごした3日間は、多くの人と交流し、ダンスや歌を通してお互いの音楽や文化について学ぶことができました。地域に残る伝統を次の世代につなげていくために、これからも世界中で活動が続けたいです。



Fendika
Melakuさん

今後の活動などはこちら



facebook



Instagram

文化も言語も肌の色も違えど、 音楽で一つになる

普段の暮らしでエチオピアの本物の芸能を体験できる機会はほとんどありません。素晴らしい国際交流の機会になったのではないかと思います。一番印象的だったのは、FendikaのリーダーであるMelakuさんが子どもたちを踊りに誘うとみんなが一斉に踊りだしたことです。「文化も言語も肌の色も違えど、音楽で一つになる」。今回の交野市×エチオピア国際交流プログラムの一つの答えのような時間でした。



サエキ囃子
佐伯篤宣さん

ですが、このすばらしい国際交流も、通過点に過ぎないと思っています。その先に何を見るのか。100年後の子どもたちに何を伝えられるのか。今回の国際交流プログラムを体験した子どもたちが、将来大人になったときに、その体験を子どもたちに誇らしく伝えてもらえるようになれば幸いです。

サエキ囃子とFendikaは、大阪・関西万博で、今回の功労者である中島さち子さんがプロデュースする「いのちの遊び場 クラゲ館」に出演予定です。